

ほんじつ ～本日のおすすめの本②1～

かだいとしょ
課題図書



「るな さんご」 『月と珊瑚』



かみじょう さく こうだんしゃ ねんしよほん
上條さなえ 作 ・ 講談社(2019年初版)
*この本は 9番の書棚にあります。(貸出可能)

しゅじんこう なまえ さんご
主人公の名前は「珊瑚」。そう、あの海の中の「さんご」です。

ものがたり げんたい げんたい おきなわ
物語の舞台は現代の沖縄です。

さんごは、ルリバーと二人暮らしです。ルリバーは、福岡で美容師として働きに出ているお母さんに代わって、孫のさんごを育てています。沖縄では、おばあちゃんのことを、「おばあ」といいますが、さんごは、ルリバーと呼んでいます。ルリバーは、一応芸能人。沖縄では少しは名前が知られた民謡歌手です。

さんごも、今、沖縄の民謡子ども大会で優勝をねらっています。でも、なかなかルリバーのようには歌えません。

さんごが通う沖縄の小学校には、生まれたときから沖縄に住んでいる友達もいますが、東京などから来た転校生もいます。沖縄の空になりひびく米軍のオスプレイ戦闘機の音は、その転校生をいつも怖がらせます。戦闘機の種類を聞き分けられる友達や、エイサーを躍らせればとびっきりカッコイイ友達もいます。

そんなある日、「月」と書いて「ルナ」と読む女の子なのに男の子のように背が高く、ミステリアスな雰囲気転校生がやってきます。

そして、さんごは、あたりまえの日常が、実は沖縄の悲しい歴史の上にあることを知っていきます。大好きな家族、ルリバーの悲しい過去も知ることになります。

最後の「沖縄が血と涙と珊瑚礁でできた島だ」というルリバーの言葉をわすれません」という、さんごの決意に、きっと、みなさんも、胸が熱くなりますよ。



ねんせいたいしょう
5・6年生対象

おきなわ せんしちゅう にほん なか ゆいいつ ほんどけつせん ち せんぜん
沖縄は、戦時中、日本の中で唯一、本土決戦の地となりました。戦前の
まず せんそうちゅう おそろしさ、それに加えて、生き残っても本当に辛く悲しい
思いをした人々が、たくさんいるという現実に、胸がしめつけられるよう
でした。

さらに、おきなわには、へのこ けんせつ すす べいぐんきち もんだい
沖縄には、辺野古に建設を進めようとしている米軍基地の問題
もあります。戦闘機は落ちることがないと信じていたが、エンジン音を
聞き分けて、異常があればとにかく逃げようと考えている小学生もいま
す。

げんじつ から め そむ じぶん たちのおきなわ かこ げんざい みらい み
現実から目を背けず、自分たちの沖縄の過去・現在・未来を見つめてい
こうとする小学生たちのお話です。